

目次

〔巻頭言〕 建築施工の機械化……………吉川清一……1  
 建築技術開発と施工……………藤井昇……2  
 住宅建設5カ年計画の現況……………白川英留……11  
 コンクリートポンプによる打設の現状と実績……………深井久男……17  
 スライディングフォーム工法の現状……………新見芳男……23  
 プレハブコンクリート版の製造設備と建設機械……………中川中夫……29  
 アメリカにおける超高層建築工事……………市田高……35  
 万国博建築における新しい着想……………中川秀夫……46

グラビヤー日本万国博覧会への展望

建築工事と公害対策……………富沢操……52  
 〔随想〕 土の名前……………三木五三郎……58  
 〔建設機械の現状〕(その10)  
 VII. 舗装機械……………徳田秀夫……60  
 〔建設機械化講座〕 第66回 現場フォアマンのための土木と施工法  
 XIV. PERTによる工事管理  
 2. PERTによる計画……………田中康之……72  
 〔新機種紹介〕  
 IHI-WIRTH B形ボーリングマシン……………山田裕三……79  
 カトウ NK-32形全油圧式トラッククレーン……………桜井鉄也……81  
 〔部会研究報告〕  
 重建設機械の主機関の消音装置に関する研究……………古浜庄一……83  
 〔建設機械化研究所抄報〕  
 試験研究報告 (No. 44)……………建設機械化研究所……90  
 〔文献調査〕  
 急こう配を登るタンデムスクレーパ……………調査部会  
 文献調査委員会……96  
 〔支部だより〕 第12回 親睦野球大会開催……………北海道支部……97  
 ニュース……………(編集部)……98  
 会員消息……………99  
 行事一覧・編集後記……………(寺島・斎藤)……100

◇表紙写真説明◇

トムセンコンクリートポンプ640形

丸紅飯田株式会社

本機は、電気制御機構による油圧操作のブームを装備しており、このブームの旋回および俯仰はリモートコントロールにより操作される。

コンクリートは、ブームに組込まれている輸送管内を排送されるので、支持足場、型わく、鉄筋類に振動および衝撃を与えることなくコンクリートの打設ができる。

写真は、大成建設(株)に納入されたもので、横浜市浄化槽建設工事において稼働中である。なお、本機は米国トムセン社との技術提携により(株)新潟鉄工所において製作された。

本機の主な性能は右表のとおりである。

主要性能

最大吐出量	35 m <sup>3</sup> /hr	
最大輸送距離	水平	240 m
	垂直	60 m
最大骨材粒径	40 mm	
輸送可能なスランブ砂率 (S/A)	5~23 cm	
輸送管径	40 %	
残コンクリート排出方式	100 A (4B)	
	水洗式	